



竿燈まつり

8月4日(火) ▶ 7日(金)

竿燈大通り

夜

- 夜本番タイムスケジュール
- 午後6時30分 ▶ 交通規制開始
 - 6時35分 ▶ 観覧席入場
 - 6時38分 ▶ オープニング
(4日・5日は太鼓の競演
6日・7日は民謡手踊り)
 - 7時17分 ▶ 市長歓迎あいさつ
 - 7時20分 ▶ 竿燈入場
 - 7時40分 ▶ 竿燈演技開始
 - 8時40分 ▶ ふれあいの時間
 - 8時50分 ▶ 竿燈退場
 - 9時30分 ▶ 交通規制解除



昼

第52回 竿燈妙技大会

とき：5日(水) ▶ 7日(金) 午前10時～午後3時20分
 ところ：千秋公園中土橋通り

大若団体戦(規定・自由) 大若個人戦 小若団体戦 離子方
 直径6メートルの円の中で竿燈の技を競います。
 演技は流し・平手・額・肩・腰の5種目。自由演技は継ぎ竹を3～6本にしたり、花笠や一枚歯の下駄、扇子を使ったり、見せ場がいっぱい!

竿燈 にチャレンジ!

妙技大会会場では、この3日間の正午～午後1時、本物の竿燈(小若と幼若)に挑戦できます。小若は高さ7.3メートル、重さ15キロ、幼若は高さ5メートル、重さ5キロ。市役所竿燈会が演技指導をします。
 当日午前11時から会場です。先着100人を受け付けます。



秋田市竿燈会副会長
 出頭忠雄さん

竿燈の演技は「力四分、技六分」といわれ、練習で培われたバランス感覚が大切です。昔から「根っこついで、生えたさ」のかけ声があるように技が決まると、竿燈は地面に根っこがついたように動きません。もちろん血のじむような努力があつてできることです。それでも重さは米俵一俵分にも相当しますから、二分くらいの演技が限界ですね。
 飾り付けに凝った竿燈や継ぎ竹を伸ばした竿燈、一枚歯の下駄・扇子を使った演技も見ごたえがあります。どうぞ楽しんでください。



鉄砲町竿燈会の杉山亮さん

流し 額

首根っこが座った重量感あふれる技。指の間から静かにすらしながら額に乗せ、両手を大きく開いてバランスを保つ。足腰をグツと踏ん張り、スリ足で体を運ぶのが腕のみせどころ。



柳町竿燈会の高橋福秋さん



竿燈パンフをどうぞ

竿燈まつりの見所や歴史を紹介しています。1冊300円。お求めは秋田観光コンベンション協会へ。会場本部でも販売します。☎(824)8686

竿燈期間中、赤れんが郷土館とねぶり流し館(民俗芸能伝承館)は午後7時30分まで閉館します。赤れんが郷土館では「秋田の町なみ今むかし展」も開催中!(4面を見てネ)